



常磐文藝

小唄十三詣り

星影生

布晒すてふ鴨川の
水にも春の色増して
ほころぶ花の嵐山
霞たりなす京の街
京は四條の小町紅
老舗娘お小夜さん
春を重ねて十三の
花の虚空藏智恵詣り
稚子髪結ふて紅つけて
振の小袖に立矢の字
塗のほくりの音も軽く
はこぶあしどり繪日傘を
くるりと廻せばちら〜と
戯むる蝶を追ひながら

募集

文藝其他一般
投稿を歓迎します

引かれて詣でる花の道
たづねて此處へ虚空藏
母どならんで神の前
どうぞよい智恵下さいと
紅葉の様な手を合せ
祈る心はづかしや
そよ吹く風にハラ〜と
振の袂に散るさくら
そつと包んで歸る途
花に暮れ行く京の街
星影生様へ、毎度投書
を有難く拜見して居ます
若した差支なくば御本名
をお知らせ下さい……記
者より



十一月三十日夕刊

定 一部金貳銭 月極
二限リ一ヶ月卅銭

料告廣 五號十三字詰
一行五十銭

日刊休 日曜、大祭
祝日、翌日

所刷印 福島縣石城郡平町
田町十六番地
磐城新聞社

編發行 川崎文治
印刷人

所行發 福島縣石城郡平町
字長橋町五番地
常磐毎日新聞社

東京コークス入荷

一俵に付九貫入金一圓七十銭
市内敏速に配達致します

平町月見町

佐藤鐵工所コークス部

電話 三六二番

西洋御料理仕出し

カキ貝 御料理
カキフライ
カキめし
カキなべ
カキ品々

松島名産

一の井

電話一六七番

謹告

不肖四圍の事情己み難く嚴正中立を
標榜し本郡第四區縣會議員候補者た
る事を承諾し其旨聲明致候得共窃か
に省みるに今や國歩艱難の秋も申
すべき時局に際し金融機關の實務に
當る一使用人としては地方經濟界の
爲め挺身努力するより他に違無きを
自覺し爰に斷然立候補を取消し此度
の選舉には全然關係不致事に決心仕
候間此段謹告仕候也
十一月十一日

草野順平

第四區縣會議員
有權者各位

推薦廣告

第四區 公認候補者
政友派

佐藤庄太郎君

右縣會議員候補者として最適任者として
認め極力其當選を期す

立憲政友會本縣支部

石城政友俱樂部

第四區同志一同

祝發刊

石炭販賣業

高橋龜松

平町白銀 帝

祝發刊 男工數名募集

高岡屋菓子製造所

平町研町(電話四〇六番)

私の見聞記者

いはらき記者

宮田三朗

中尉が一切口を開かぬ理
由として當時所澤飛行場
押しかけつゝあつた東京の
同業者が報導の機敏を競つ
た結果常に想像記事のみを
掲載する傾向あるに憤慨し
てゐた爲に知らず、川崎君
は突嗟に方針を變へて旅館
を訪れた、そして再び考へ
た未折柄入浴中の中尉を
共に素裸体となつて浴槽中
に捉へたのである、流石に
中尉は之が大嫌いな新米記
者とは知る由も無くツイ不
用意の間にもスツカリ喋舌つ



其後君は第二の功績を表
はした、有名な東管事件
鐵道省の官吏が炭礦の役員
と結託して不正を働いた地
方稀に見る大問題の突發に
處して鮮かな手腕を見せた
ものである、當時の在平同
業をアツト云はせた位には
又―も東日、東朝、報知等
大新聞社迄がいへ合した様
に態々敏腕の記者を特派さ
した程、新聞界に於ける堂
々たる素破抜きであつた從
て地方の一般讀者には事件
が擴大すればする程「いは
らき」の名聲を大ならしめ
た結果となつたのである
(續)

憲派の偽電問題

益々火の手を揚ぐ

文書偽造當選妨害の

告訴を検事局に提出

草野順平氏が白井翁から懇諭され周囲の事情を考慮した結果断然立候補辞退の意志を表明し各方面に向つて其旨の書状を發したるに拘らず憲派は飽迄佐藤庄太郎氏の當選妨害を企て草野氏名義を濫用した偽電を頻發し辭退せざる旨の宣傳奸策を弄した事は既記の如くであるが政友俱樂部にては是れを不問に附すへからずと爲し本日平區裁判所検事局

佐藤派應援

名士續々來平

佐藤庄太郎を應援せんが爲め堀切善兵衛、八田宗吉の兩代議士來平各所に論陣の烽火を揚げて居たが更に代議士石川淳氏は昨夜急行にて來平住吉屋支店に投宿した

鯉漁は極めて不漁

秋刀魚が道草を食はずに突如本縣沖合に現る

本縣の鯉漁は總額九十五萬圓に過ぎず昨年の百卅萬圓に比較して約二割五分減であるが出漁船は四十八隻一隻當り平均一萬六千圓から一萬八千餘圓で鯉節は七千樽、此相場を百廿掛として九十萬圓に達し昨年の一萬樽に比し三千樽減少して居る右に關して小名濱町本縣水産試験場員の語る處によると「此夏の鯉漁は静岡縣を除くの外は全國的に不漁で例年なら鯉の不漁分を秋刀魚で埋合せたものだが従來は岩手、宮城兩縣沖を経て來た秋刀魚が本秋は潮流の變化にて直接本縣沖合に

國債發行盛況

發表明に申込

磐城銀行にては昨日から五分利附國庫債券賣出しを開始したが本年十二月は恰もホ號債券の償還月に相當する等の關係より中には賣出し發表前既に申込を爲したる者ある程の盛況である

果樹苗幹旋

本縣農會が

近時果樹栽培漸く盛んならんとし是れか苗木の購入幹

石城製茶狀況

數量や價格

旋を本縣農會に求むる者多き爲め副業獎勵の趣旨にて是れが要望を滿すべく柿及び梨の苗木を左記價格に依つて共同購入すべき爲め希望者は本週末日迄に申込まれたしと

△柿百本に付き、富有及び蜂屋は廿五圓、富士は廿圓
△梨百本に付き、長十郎及び晚三吉、今村秋は各十三圓、廿世紀が十五圓

石城郡内に於ける製茶業は主として農家の副業であるが製造戸數三千二百四十一戸、其數量二千四百卅三貫價格一萬七千四百四圓であつて分類すれば煎茶二千五百五十五貫、番茶二百廿五貫又一貫目當りの價格は煎茶七圓五十四錢、番茶四圓四十八錢である

強盜未遂

其他に窃盜

住所不定安積郡片平村大字大町生れ左官職前科一犯山内直次(三四)が本年九月二日の夜強盜せんと菜切庵丁を持つて石城郡磐崎村大字藤原字別處菓子商吉田松吉方に侵入し松吉を叩き起した

東京の女を賣飛

營利誘拐犯人の結審

石城郡神谷村大字鎌田字岸前鈴木ツメヨ方居住山形縣生れ自轉車修繕業宮澤佐太郎(三二)は本年三月商用にて上京し東京下谷區西町第三玉川屋方に投宿し同家主人鈴木勇七の姪佐藤タツ(二一)と情を通じ誘拐せんと企て妻子ある身に拘らず獨身故に妻にするを欺き同月下旬平町に連れ來つて驛前松崎屋旅館に宿泊せしめ自分は自轉車材料仕入金をた前の爲めに悉く費消し財

朝鮮人

盗んで騙る

住所不定朝鮮人西山藤太郎て喜ばれる流行の銘仙に就いて聞いた談話を綜合するに今秋現れた銘仙は今迄のベト／＼したものよりはシツカリした重味のあるのを喜ぶ模様であつて地色も今迄の青味萬能から變つて小豆、茶、海老色系統のあたゝか味を感じるものが新流行である、圖柄は昔にかへつて縞物全盛だが其縞も瀧

住所不定安積郡片平村大字大町生れ左官職前科一犯山内直次(三四)が本年九月二日の夜強盜せんと菜切庵丁を持つて石城郡磐崎村大字藤原字別處菓子商吉田松吉方に侵入し松吉を叩き起した目的を遂げる事が出来なかつた強盜事件は平支部宇留野豫審判事の豫審決定した被告は其前二回に亘つて窃盜を働いて居たと

仙銘の行流

の付落と味瀝

平町の鹽屋、仙臺屋、龜田屋、中野、三井各代表的な呉服屋にて實質本位に依つ

村國有林から篠竹二把を伐採し同二圓
川町料理店鈴木斧二郎(四八)が本年八月廿一日古和口テフの腰を蹴り更に平野井子之松を蹴つて負傷せしめた暴行傷害罪は同罰金廿圓

常磐片々

憲派思案投首で考へた揚句いよ／＼苦しくなつて偽電報の最後ツ尻をプツ放す鼻もちのならぬ事甚しい面喰つた第四區の有權者こそ迷惑千萬

憲派は己れ自ら百日の説法を尻二つにした

而し徒らに放屁して人を迷はすの罪輕からずと平署鼻をつまんで活動を開始す

農産品評會

來春内郷村に

石城郡内郷村農會にては來春二月頃農産物品評會を開

田町青年總會

平町

田町青年分團にては明日午後六時石川亭にて秋季總會を開き役員選舉を爲し其他諸般の事項を協議する由

平裁判だより

男女混浴罰金

男女混浴罰金 双葉郡富岡町大字上郡山字唐空湯屋營業堀川シメ(六一)は本年八月十六日男女を混浴せしめ略式罰金五圓

篠竹二把伐採 同郡木戸村大字下小墾字聖天豆腐製造業渡邊徳太郎(五二)は同

平町人事

出生

出生 谷津田友記二女

泣いても笑つても明日

泣いても笑つても明日は最後ツ尻を續け打ちに放して見たつて知れたものさ

時代が時代だ尻ツピリ虫の眞似をして居る内に世の中から置いてきぼりを食ふぞそしたら如何に尻をつぼめても間に合はぬ

芳子

大庭常七長女市子
阿部正春三女カツ子
渡邊正光二女シツ子
荒木勝彦長男勝彌
宮原松藏二男誠治
齋藤末市郎長男保雄
大平伊之吉四男重利
北村幸吉五女六子

死亡

佐藤一造(二六)
佐藤幸子(六六)
中野フキ(一七)